

# 益城中学校区「学力向上」研究発表会

## 1 テーマ

夢実現！小中連携を踏まえた教育イノベーションへの挑戦  
～限りない教師の挑戦（Endless Teacher's Challenge）～

研究テーマ

児童生徒の主体的な学びへの転換  
～サンタの学習指導過程の実践を通して～

## 2 研究の方向性

### 実践重視の研究に

課題を解決する研究にし、共通実践内容を明確にする。  
日常的な実践重視の研究に取り組む。

### 即実践の態勢づくり

研究組織や内容、テーマ等については、前年度末までに決定する。  
各学校は、1学期から具体的な共通実践に取り組む。

### 全職員の研究に

全ての職員が同じ研究テーマの下、共通実践内容の達成を目指して取り組む研究にする。

## 3 小中連携イノベーションプランの視点

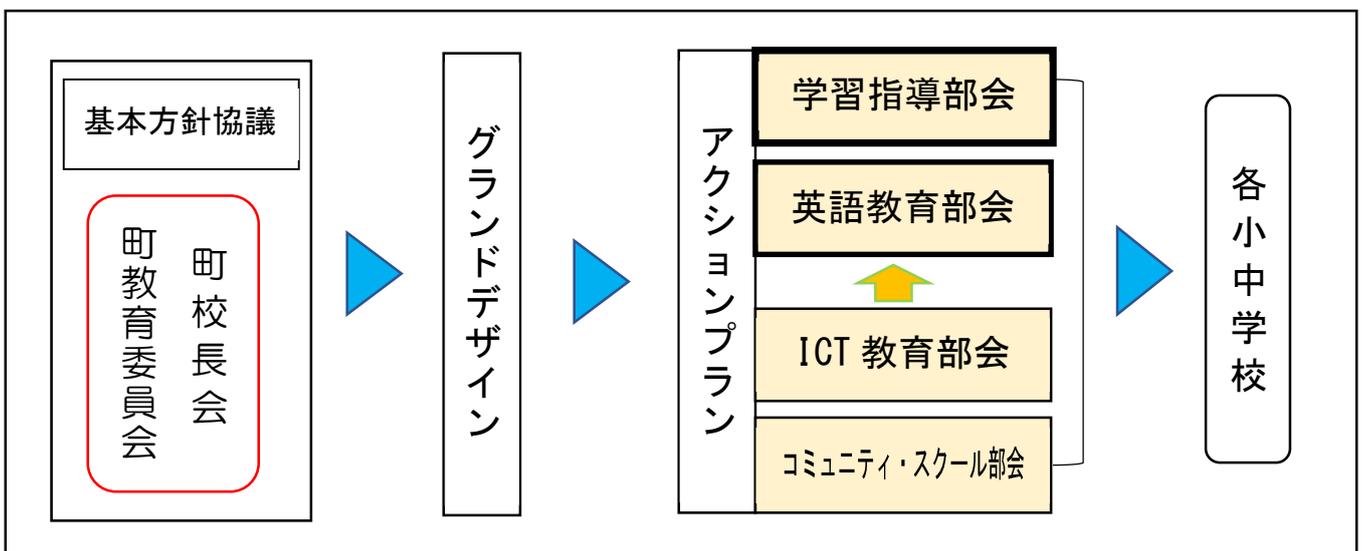
- ★小中連携教育活動の共通実践
- ★教職員と教育委員会との協働
- ★実践目標の協議・共通実践、実践結果の改善案検討
- ★教職員や児童生徒の具体的な変容で評価

詳しくは  
こちら



働き方改革の推進  
組織基盤の強化  
人材の相互育成

## 4 小中連携の構想



## 5 共通実践事項

### 主体的な学びへの転換

- 1 単元や各授業における目標のイメージ化を図り、行動目標を設定する。
- 2 児童生徒が「自分の考えを、自分の言葉で、分かりやすく伝える力」を鍛える。
- 3 読む発表から、資料等を活用して自分の考えを伝える発表への転換を図る。
- 4 セルフトークの時間を設定し、資料やKWを使い分かりやすく伝える練習をする。
- 5 チャレンジタイムの時間を設定し、行動目標に対する個々の学習成果を確かめる。

### サンの学習指導過程

(たのしく、ためになり、ためしてみたい授業)

#### 《 自分の考えを 自分の言葉で 分かりやすく伝える! 》

- 1 導入で「本時で何ができるようになればよいか」を明確に伝え、板書する。
- 2 学習活動では、①活動のねらい ②手順 ③留意点をきちんと理解させる。
- 3 発問後、自力解決の場を必ず設定し、自分の考えを自分の言葉でまとめさせる。
- 4 共同解決の場を設け、本時の目標に向かって学び合い高め合う授業を展開する。
- 5 チャレンジタイム等を設定して、本時の目標に対する評価を具体的に実施する。

#### 事前にチェック!

「目標—中心的学習活動—まとめ—評価」に整合性はあるかな?

「授業における児童生徒の思考の流れ」はスムーズかな?

指導過程を頭に入れ、児童生徒を見て授業ができるかな?

「授業に必要な基礎・基本」がどれだけ身に付いているかな?



「表情・声の抑揚」、「絵・グラフ等の活用」、「話の筋道」は考慮されているかな?

### 実践的な授業づくり

～板書型学習案の活用～  
学習の構造化&イメージ化

5年 算数 「図形の角を調べよう」

① 問

③ 行動目標

⑤ 自力解決  
共同解決

問 四角形ABCDと長方形EFGHの4つの角の大きさの和はどちらが大きいか?

め 三角形の3つの角の大きさの和をもとに、四角形の4つの角の大きさの和の求め方を説明できる

③ 行動目標 ⑤ 自力解決 共同解決

⑥ まとめ

ま 四角形の4つの角の大きさの和は、三角形の3つの角の大きさの和を倍で求めることができる

⑦ チャレンジタイム

② 自力解決 共同解決

④ 自力解決・セルフトーク  
ペアトーク・共同解決

② 自力解決  
共同解決

④ 自力解決・セルフトーク  
ペアトーク・共同解決

⑦ チャレンジタイム

# 6 研究の実際

教科 算数

単元 図形の角を調べよう (5年)

本時 4/6

○ 本時の目標：三角形の内角の和を基にして、四角形の内角の和を考え、説明することができる。

学習の流れ

学習活動

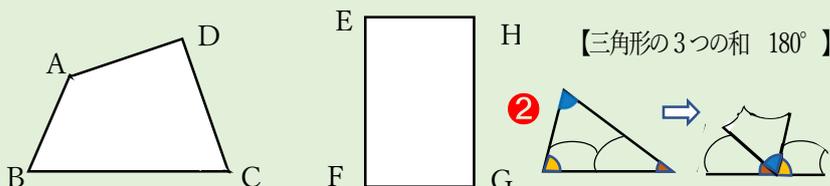
児童の反応・留意点

問

サンタの学習指導過程 1・2

①

四角形 ABCD と長方形 EFGH の 4 つの角の大きさの和はどちらが大きいですか。



問題文を捉えやすくするために絵図を提示

・四角形 ABCD が大きそうだ。  
・長方形は直角が 4 つある。  
・三角形の全部の角の和は 180° だったな。

どうすればはっきり分かるかな？

三角形を作るには？

対角線を引いて、三角形を作ろう。

めあて

③

④ 三角形の角の 3 つの角の大きさの和をもとに、四角形の 4 つの角の大きさの和の求め方を説明できる。

今までの学習で使えそうなことはないかな？

四角形 ABCD の中に、三角形は見えてきたかな？

図形や線を引いたり、点をつけたりして、三角形を作ってみよう。

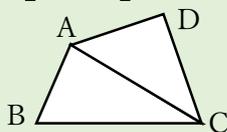
式や言葉で自分の考えを示しておこう。



自力解決

サンタの学習指導過程 3・4

【Aさん】

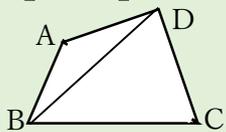


$$180 \times 2 = 360$$

答え 360°

対角線を結んで、四角形を三角形 2 つに分けて考えた。

【Bさん】

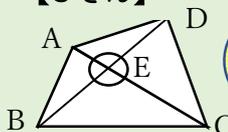


$$180 \times 4 - 360 = 720 - 360 = 360$$

答え 360°

四角形の対角線を 2 つ引いて、四角形を三角形 4 つに分けて考えた。

【Cさん】



点 E の周りの 360° は、関係ないな。

2 つの方法で、共通していることはどんなことかな？

どちらも四角形を三角形に分けている。三角形の 3 つの角の大きさの和を使っている。

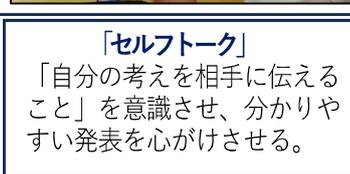
対角線を引いてみよう！

三角形が見えてきたぞ！

これも 360° かな？

⑤

これも三角形が 2 つだから  $180 \times 2 = 360$  で 360° だな。



「セルフトーク」

「自分の考えを相手に伝えること」を意識させ、分かりやすい発表を心がけさせる。

共同解決



分かりやすく伝わったかな？ 【ペアトーク】 【共同解決】

まとめ

⑥

④ 四角形の 4 つの角の大きさの和は、三角形の 3 つの角の大きさの和を使って求めることができる。

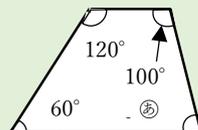
チャレンジ

サンタ 5

⑦

⑥ の角度は何度ですか。計算で求めましょう。

【式】  $360 - (120 + 100 + 60) = 80$   
答え 80°



《評価》

三角形の内角の和をもとにして四角形の内角の和の求め方を演繹的に考え、説明している。

四角形の 4 つの角の大きさの和は 360° だったな！

## 7 成果

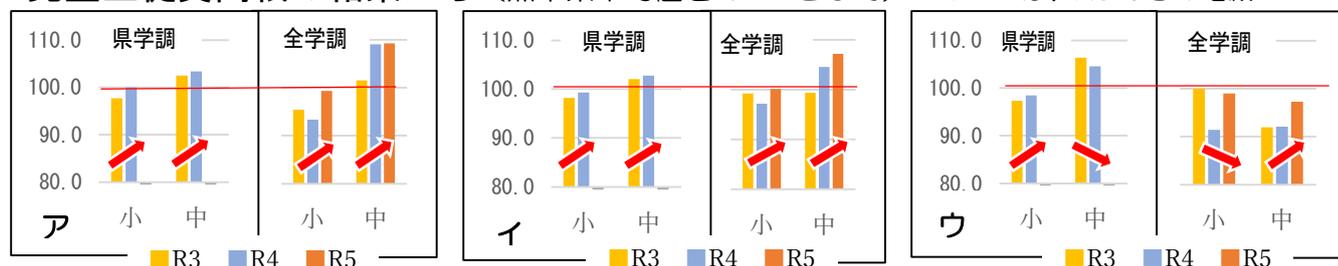
### (1) 教師の変容

- ・児童生徒に基礎的な知識及び技能を習得させ、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育むため、同じ方向性で町内の教師が、授業改善に向け共通実践ができるようになった。
- ・日々の授業で明確な行動目標を設定することにより、本時で「何をできるようにすればよいか」を意識し、ぶれずに授業が進められるようになった。
- ・「自力解決、共同解決」「チャレンジタイム」の設定により、タイムマネジメントを意識した授業を組み立てるようになった。
- ・授業で「読む発表から、伝える発表」をさせるために、児童生徒が理解しやすい資料やキーワードを、意識して提示するようになった。
- ・板書型学習案を活用することにより、授業構想がイメージ化され、日常の授業改善につながった。
- ・「なぜ子供たちはできないのか」ではなく、「どうしたら子供たちに分かる授業ができるか」というように意識が変わり、授業改善に取り組む教師が増えた。

### (2) 児童生徒の変容

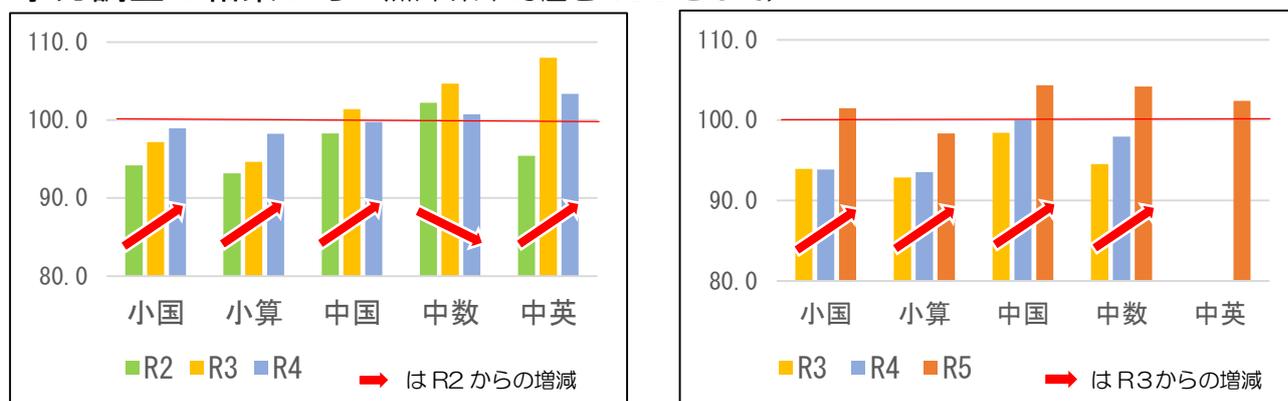
- ・本時で「何ができるようになればよいか」「何が分かるようになればよいか」を理解することで、学習の見通しを持って授業に臨むようになった。
- ・セルフトークをすることで、自分の考えを整理したり、理解を深めたりすることができ、自分の考えを自分の言葉で分かりやすく表現して、主体的に学ぶという意識が高まった。
- ・自分の言葉で伝えようとする意欲が高まった。また、発言の機会が増え、自分の考えを持って授業に臨む児童生徒が増えてきた。
- ・チャレンジタイムでは、「挑戦してみよう！」という児童生徒が増えた。できるようになった児童生徒は達成感を持ち、他の児童生徒も、「できるようにになりたい」という学習への意欲を持つようになってきた。

### (3) 児童生徒質問紙の結果から（熊本県平均値を100として） ※ → は、R3からの増減



- 〔質問事項〕
- ア「授業の内容がよく分かる」※国、算・数、英の平均値
  - イ「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」
  - ウ「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」

### (4) 学力調査の結果から（熊本県平均値を100として）



【熊本県学力・学習状況調査（令和2～令和4年度）】

【全国学力・学習状況調査（令和3～令和5年度）】

※県学調：小学校は小3～小6の平均値、中学校は中1・中2の平均値